

お悩み別 就活メイク 2016

カネボウ化粧品美容研究所のヘア&メイクアップアーティスト・**形部 華**（ぎょうぶ はな）が、二人の女性のお悩みに合わせた就職活動メイクをご紹介します。



カネボウ化粧品美容研究所
ヘア&メイクアップ
アーティスト
形部 華（ぎょうぶ はな）

お悩み①

化粧感が出すぎてしまうのが苦手で、普段は BB クリームを薄く塗って少しアイメイクをする程度という塩田さん（仮名）。切れ長の目を大きく見せながらきちんとした印象になる、就職活動に相應しいメイクを知りたいという要望でした。

【プロアドバイス】

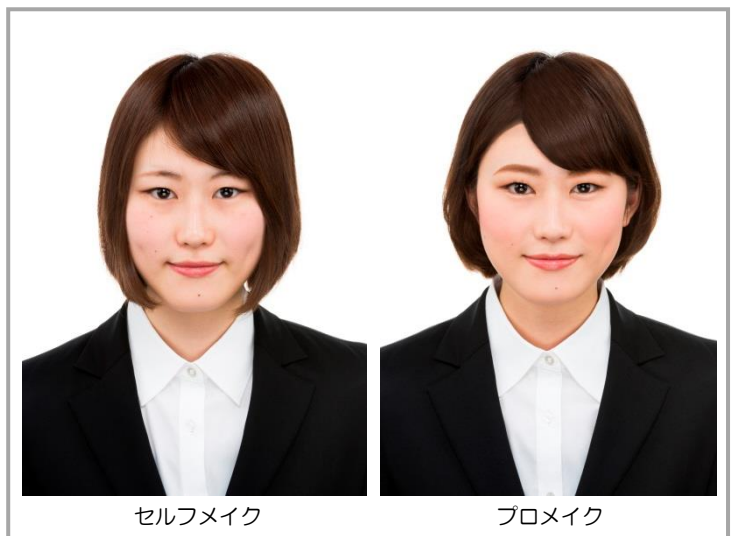
就職活動では、やる気や熱意をアピールすることに加えて、身だしなみを整えることも大切です。メイクを身だしなみの一部と捉えて好印象を与えるメイクをしましょう。

【プロメイク】

塩田さんのように肌がキレイな人は、ベースメイクでつくりこむ必要はなく、化粧下地やファンデーションは、全体に少量を薄くのばせば十分です。はつらつと見せるために、頬にはチークを入れて血色感を演出。笑ったときに頬の高くなる部分を中心にチークをふんわりと入れることで、塩田さんを優しい印象に見せました。チークの境界線がはっきりとしてしまった場合は、ファンデーションスポンジやブラシなどで境界線をぼかすと自然に仕上がります。

切れ長の目を丸く大きく見せたいという要望に対しては、アイシャドウの塗り方やアイラインの入れ方をひと工夫。使用するのはナチュラルな印象のベージュ系アイシャドウです。まず、くすみをとるために、まぶた全体に明るいカラーを。次に、やわらかみのあるミディウムカラーを、アイホールの目尻から目頭に向かって塗ります。このとき、まぶた中央で上下の幅が最も広くなるように塗ると効果的（写真右）。アイシャドウの締め色やアイライナーも黒目の上を太めに入れ、自然にぼかせば、目を丸い印象に近づけることができます。さらに、マスカラを塗るときもまつ毛の根元から立ち上げることを意識し、目の中央部分には特にたっぷりのせました。

眉は、やや太めに描きます。下がり眉は消極的な印象を、細すぎたり眉頭の寄った眉は、神経質そうな印象を与えやすいので、就職活動時には、眉山の角度をあまりつけずにスト



セルフメイク

プロメイク



オレンジの点線のように、まぶた中央で上下の幅が最も広くなるようにアイシャドウを塗ると、目が丸く大きく見える

レート気味に描くのがおすすめ。パウダータイプのアイブロウで全体の形を整え、アイブロウペンシルで眉毛の足りない部分を描き足しました。

唇は、リップクリームやグロスのみで仕上げずに、きちんと感を演出するために口紅を塗ります。色はやや赤みのあるベージュピンク系などを使うと、自然で好印象に。

短い髪は耳にかけ、表情がよく見えるように整えます。耳の横や後ろなどの見えない位置でピンをさしたり、スプレーをするなどし、お辞儀をしたときに顔にかからないようにセットしました。

お悩み②

ニキビ跡が気になるという本橋さん（仮名）。ニキビ跡を自然にカバーしつつ、普段のナチュラルメイクよりも華やかな印象になる就活メイクが知りたいそうです。

【プロアドバイス】

派手な色を使わなくても、顔にメリハリをつければすっきりと引き締まった印象になり、華やかさも高めることができます。

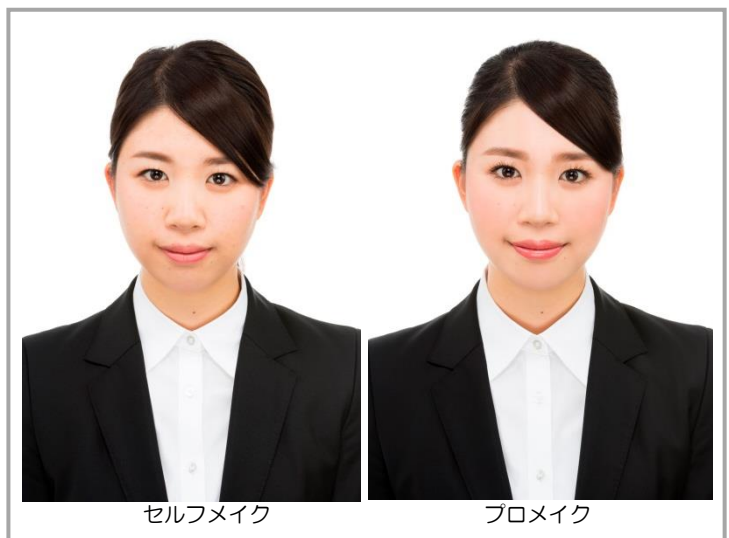
【プロメイク】

まずは顔全体に化粧下地を薄くのぼします。ファンデーションはカバー力の高いリキッドタイプやクリームタイプを選び、ニキビ跡が気になる部分を中心に、顔全体にのぼします。ひととおり塗

ってもまだ気になる部分には、スポンジや指などを使ってファンデーションを部分的にトントンと重ねました。さらに全体にフェイスパウダーをふんわりと重ねれば、キメも整い、化粧もちも高まります。

頬に血色感を与えていきいきと見せるチークは、のせ方によって顔の印象を大きく変えることができます。本橋さんの場合は、顔にメリハリを出すために、頬骨に沿って斜めに楕円を描くようにチークを入れました。少し角度をつけて入れることでシャープさが高まり華やかな印象になります。さらにチークとファンデーションの境界線をファンデーションスポンジやブラシなどでぼかすと、肌に自然になじみます。

また、アイメイクでも目頭にポイントを持ってくることで、視線を集め、顔全体が引き締まった印象に見えるようにしました。アイシャドウは、肌なじみのよいベージュ系をセレクト。まぶた全体に明るいカラーをぼかしたあと、ミディアムカラーをアイホールを目尻から目頭に向かってのぼします。さらに、明るい色のアイシャドウを、目頭を囲むようにキワに沿って「く」の字にのせ、少し明るく整えます。アイラインはまつ毛の根元の隙間を埋めるように目頭から入れ、マスカラは目頭の短いまつ毛にも丁寧に。就職活動にふさわしい意志のあるまなざしを演出でき、表情の華やかさもアップします。





頬には斜めにチークを入れると顔がすっきり見える。唇は、上唇と下唇の比率が、1：1～1.5になるように描くのが理想的

眉は、毛の密集している眉山あたりから眉頭に向かって、毛流れに逆らうようにして描きます。眉山から眉尻に向かっては、眉尻が下がりにくいように自然に描きました。眉下のラインが整っていると丁寧に描いた印象になります。最後に眉ブラシでとかして毛流れを整えることを忘れずに。

唇は、小さいよりも大きいほうが積極的な印象を与えるので、就職活動時には、上下のバランスを整えながらやや大きめに描くのがおすすめです。理想の唇のプロポーションは、上唇：下唇＝1：1～1.5。本橋さんは下唇に比べて上唇が薄めなので、上唇の山（M字部分）～口角にかけて、本来のラインよりもややオーバー気味に口紅を塗って上下のバランスをとりました。最後に、スポンジに残ったファンデーションなどを使って下唇の口角下の影を消します。こうすると唇のラインが引き締まり、口角が上がったような明るい表情に見せることができます。

長い髪は、一つに束ねるかハーフアップにして、お辞儀をしたときに顔にかからないようにセットします。一つに束ねるときには、耳より高い位置だと派手な印象になり、低いと地味な印象になるので、耳の高さで束ねます。前髪が長い本橋さんは、横に流してピンとスプレーで留めました。



表情も大切。自信をもって臨みましょう！